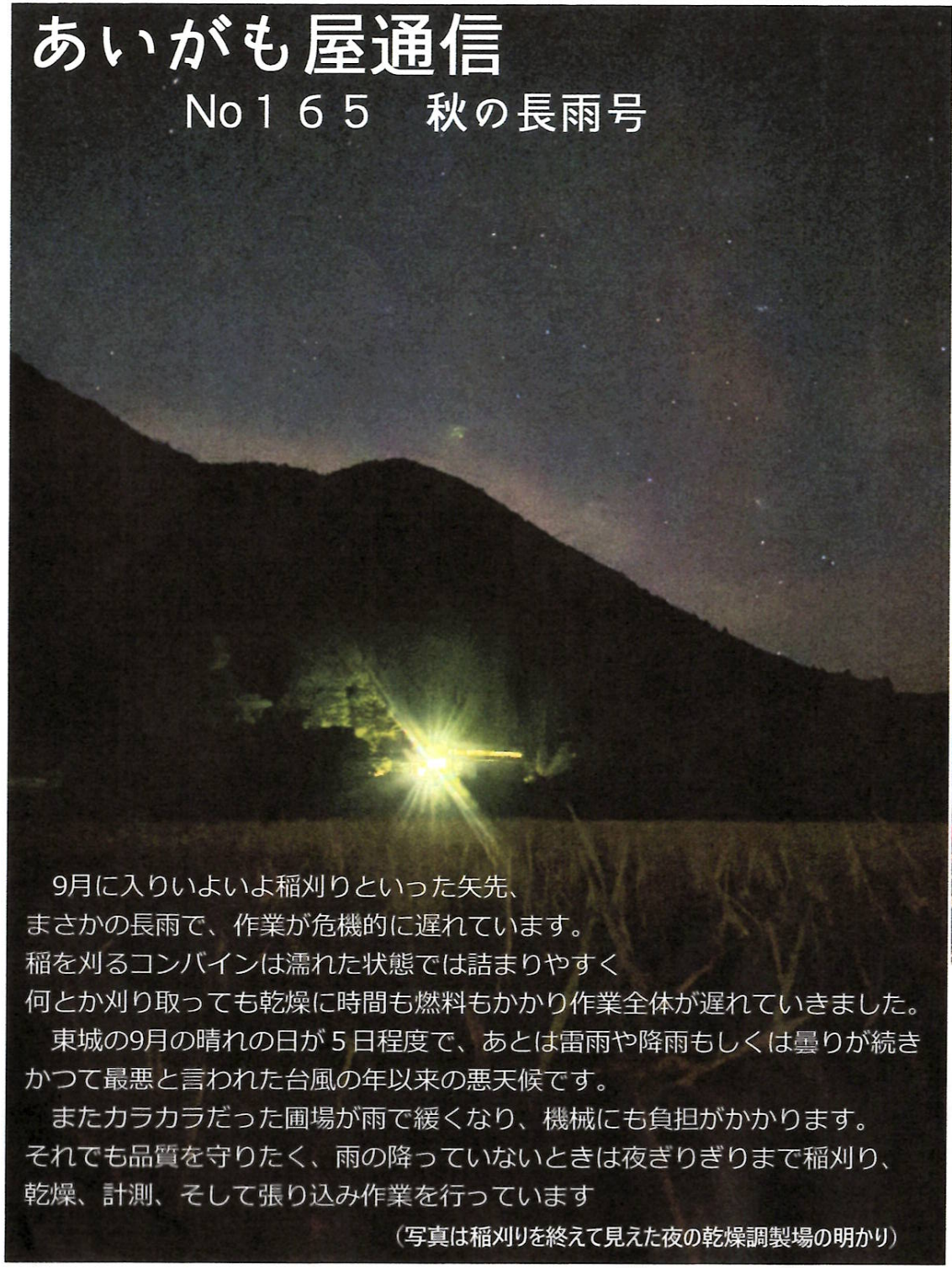
あいがも屋通信

No１６５　秋の長雨号



9月に入りいよいよ稲刈りといった矢先、
まさかの長雨で、作業が危機的に遅れています。
稲を刈るコンバインは濡れた状態では詰まりやすく
何とか刈り取っても乾燥に時間も燃料もかかり作業全体が遅れていきました。
東城の9月の晴れの日が５日程度で、あとは雷雨や降雨もしくは曇りが続き
かつて最悪と言われた台風の年以来の悪天候です。
またカラカラだった圃場が雨で緩くなり、機械にも負担がかかります。
それでも品質を守りたく、雨の降っていないときは夜ぎりぎりまで稲刈り、
乾燥、計測、そして張り込み作業を行っています

（写真は稲刈りを終えて見えた夜の乾燥調製場の明かり）

田んぼが柔らかいことを
「じゅるい」もしくは「じゅりぃ」っていいます
機械は痛み、最悪ハマります。
あれだけ欲しい時に降らなくて今さら降り続けるなんて
勝手にしやがれ

体験して！さとやま留学

庄原市の観光プログラム「庄原ファンクラブ」の一環で農業、農村体験を開催しました。
学生さんや庄原市の関係者で稲刈り、合鴨や牛の世話をして米作りに大切なこと、里山での生活の事を語り合いました。

第35回 グリーンツーリズム 収穫感謝祭
10月26日（日）開催
詳細はHPにて